

操作のしくみと表示の見方 ①ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります

時刻モード

①ボタン (モード切替)
②ボタン (午後マーク / 午前不点灯)
③ボタン (ライト点灯)
④ボタン (ライト点灯)

ライト点灯
①ボタンを押すと約2秒間文字板が点灯します。

曜日
曜日の見方
曜日が英語頭2文字を表示します。
SU:日 MO:月 TU:火 WE:水
TH:木 FR:金 SA:土

12/24時間制表示切替
②ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後P)と24時間制表示(24)が切り替わります。

アラームモード

①ボタン (ライト点灯)
②ボタン (ライト点灯)

モード
マーク 月日

アラーム時刻

タイマーモード

①ボタン (ライト点灯)
②ボタン (ライト点灯)

モード
マーク 現在時刻

タイマー時間

ストップウォッチモード

①ボタン (ライト点灯)
②ボタン (ライト点灯)

モード
マーク 現在時刻

計測値

各モードのまま2~3分すると時刻モードに戻ります。(ストップウォッチ計測中は除く)

ライト点灯について

①ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。



発光しているときにもう一度①ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。どのモードのときでも点灯します。

<ご注意>
直射日光下では、発光が見えにくくなります。
発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。
発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。

アラームの使い方

①ボタンを押して、アラームモードにします

アラームは、月日時分を設定でき、設定した時間に20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻の設定

- ①ボタンを押します
- ②ボタンを押します
- ③ボタンを押します

「時」が点滅します。このとき、アラームマークが点灯します。

「時 分 月 日 時...」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。

③ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。

①ボタンで設定したい箇所を選び、②ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を設定します。

「時」の午前/午後(P)にご注意ください。基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。「時・分」に加え、「月・日」を設定すると、報音タイミングが以下のように変わります。

「時・分」のみ...毎日、指定時刻に報知
「時・分・月」...指定月の毎日、指定時刻に報知
「時・分・日」...毎月、指定日、指定時刻に報知
「時・分・月・日」...指定月日の指定時刻に報知

(4) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。点滅表示のまま2~3分間すると自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、②ボタンを押すごとに、アラームマーク・時報マークが点灯/不点灯を繰り返します。マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。

鳴っている電子音を止めるには
①②③④ボタンのいずれか1つを押します。

{アラームモードで操作後、①②③④いずれかのボタンを押すと、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。}

タイマーの使い方

①ボタンを押して、タイマーモードにします

タイマーは、1秒単位で最大24時間までセットできます。残り時間が0分になると、10秒間(タイマー時間が10秒以下のときは1秒間)電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

タイマー時間の設定

- ①ボタンを押します
- ②ボタンを押します
- ③ボタンを押します

「時」が点滅します。

「時 分 秒 時...」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。

③ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。

①ボタンで設定したい箇所を選び、②ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、タイマー時間を設定します。

タイマー時間設定のとき、①ボタンを押すごとに「リピート計測」と「オートリピート計測」が切り替わります。「リピート計測」...タイマー時間を1回のみ計測「オートリピート計測」...タイマー時間を繰り返して計測。オートリピート計測は「AUTO」が点灯します。タイマー時間を「24時間」にするときは「0:00:00」にします。

(4) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

点滅が止まり、セット完了です。点滅表示のまま2~3分間すると自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方(減算計測のしかた)

②ボタンを押します

計測中に②ボタンを押すと計測が一時的に中断します。もう一度②ボタンを押すとその時点から計測を再開します。計測中に③ボタンを押すと計測を中断し計測前の表示に戻ります。

{タイマーモードで操作後、①②③④いずれかのボタンを押すと、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。}

ストップウォッチの使い方

①ボタンを押して、ストップウォッチモードにします

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。（計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。）

計測のしかた

②ボタンを押します

ストップウォッチモードのとき、②ボタンを押すと計測が開始します。

計測中に②ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度②ボタンを押すとその時点から計測を再開します。（積算計測）

計測中に③ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。計測値を0に戻す（リセット）には、計測終了後③ボタンを押します。

現在時刻

スプリット

分 秒 1/100秒

スタート ストップ

スプリット リセット

時 分 秒 マーク

計測値が1時間を超えると、下段が「時・分・秒」表示となります。

通常計測

②スタート → ②ストップ → ③リセット

スプリットタイム（途中経過時間）の計測

②スタート → ③スプリット → ③スプリット解除 → ②ストップ → ③リセット

1・2着同時計測

②スタート → ③1着ゴール（1着タイム表示） → ②2着ゴール → ③2着タイム表示 → ③リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

秒の合わせ方

(1) 時刻モードのとき、③ボタンを押します

(2) 時報に合わせて②ボタンを押します

(3) ③ボタンを押します

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です。）

秒の点滅が止まり、セット完了です。

「秒」が点滅します。

00秒からスタートします。

時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、③ボタンを押します

(2) ①ボタンを押します

(3) ②ボタンを押します

(4) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

①ボタンで設定したい箇所を選び、②ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

「時」の午前/午後（P）にご注意ください。
「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日（時刻・カレンダーモードで表示）が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

点滅が止まり、セット完了です。
点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

年 月 日

時 分 秒